信濃川火焔街道連携協議会　　　　平成30年3月4日実施

第10回　縄文楽検定（中級）解答集

問題	解答
1	c
2	a
3	a
4	c
5	a
6	b
7	c
8	b
9	道尻手(遺跡)
10	野首（遺跡）
11	c
12	世界
13	b
14	a
15	a
16	補修（孔）
17	c
18	吉野屋（遺跡）
19	d
20	a

問題	解答
21	d
22	d
23	c
24	a
25	a
26	b
27	c
28	c
29	東北
30	a
31	d
32	d
33	c
34	上車野E（遺跡）
35	三十稲場（式土器）
36	山下（遺跡）
37	c
38	b
39	土器(づくり)
40	風景

問題	解答
41	d
42	b
43	a
44	b
45	a
46	b
47	みなとぴあ
48	c
49	a
50	c

（解説）
出題に用いたテキスト等とその略号は、以下のとおりです。
①『<縄文楽検定テキスト>　縄文文化と火焔土器』（2008）＝「テキストⅠ」
②新潟県立歴史博物館編『火焔土器の国新潟』（新潟日報事業社　2009）＝「火焔土器の国」
③『<縄文楽検定テキストⅡ>　信濃川火焔街道　縄文の旅』（2011）＝「テキストⅡ」
④『日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化GUIDE　BOOK』(2016）＝「ガイドブック」
⑤『日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国文化』ストーリー＝「ストーリー」

なお、問題文中、「火炎土器」「火焔土器」「火焔型土器」「火炎土器様式」などの用語が出てきますが、すべて使い分けをしています。
くわしくは、テキストⅠの９頁などをご覧ください。
それでは、主な問題とその回答について簡単に解説します。

問５　火焔土器の国 43～44 頁参照。

問 10　野首遺跡では、火焔型土器・王冠型土器が多く出土し、30 個体もの復元がされ、笹山遺跡を越えて、最も多く復元が行われています。また、火焔型土器の古い段階から新しい段階までが揃って出土、復元されている遺跡でもあります。

問 12　火焔土器の国 128 頁参照。

問 18　テキストⅡ7 頁参照。三条市吉野屋遺跡では、多くの土偶の頭部が出土しています。そして、その頭の形や顔の表現には多様性が見ることができます。

問 22　テキストⅡ、ガイドブックなど参照。新たに加盟した魚沼市にある遺跡は、清水上遺跡です。ツベタ遺跡は阿賀野市、大蔵遺跡は五泉市、羽黒遺跡は見附市の遺跡です。

問 28　ガイドブック６頁参照。

問 33　石棒と石皿には、彫刻が施された彫刻石棒や彫刻石皿があります。この彫刻にはとても手間がかかり縄文人にとっても思い入れの深いものですので、なんらかの儀礼の道具と考え、縄文人の心を探る手がかりの１つです。

問 36　昭和 39・42(1964・1967)年に長岡高等学校人文科学部と長岡市立科学博物館は、山下遺跡の発掘調査を行いました。本遺跡は長岡市の柿川近くの高台に立地し、遺跡からは火焔型土器の祖形と考えられる土器が出土しています。

問 37　ストーリー参照。岡本太郎は、火焔型土器（縄文土器）をみて「なんだ、コレは！」と叫んだそうです。

問 49　ガイドブック 32 頁参照。火焔土器と花火、悠久山公園のお城と桜、長岡市の花ツツジがデザインされています。平成 28 年度、岩野原遺跡から出土した火焔型土器など縄文土器４点が常設展示される際、長岡市から大英博物館に寄贈され、収蔵されています。

問 50　ガイドブック 28 頁参照。津南町にある龍ヶ窪温泉　竜神の館には、竜神の湯と縄文の湯の２つの風呂があります。縄文の湯では、火焔型土器からお湯が出てきています。